

令和元年11月22日

海事局総務課国際企画調整室

国際海事機関（IMO）第31回総会の開催

11月25日（月）より、国際海事機関（International Maritime Organization：IMO）第31回総会が英国ロンドンにて開催されます。

今次総会では、加盟各国代表による一般演説のほか、我が国も再選を目指して立候補している理事国の選挙、2020年から2021年までの2年間の予算案の審議等が行われる予定です。

総会には、御法川国土交通副大臣が我が国の代表として出席し、11月25日（月）に一般演説を行い、海事政策における日本の貢献を広くアピールするとともに、IMOの取り組みの方向性や期待について述べる予定です。

また、今次総会においては、海洋環境保護委員会（MEPC）議長である斎藤海事局船舶産業課長が、技術的事項等を議論する第2委員会（※）の議長に就任する予定です（日本人としては16年ぶり2人目）。

※IMO総会では一般演説、理事国選挙等が実施される全体会合のほか、予算等を審議する第1委員会と、技術的事項を審議する第2委員会が設置されます。

1. 会 期

令和元年11月25日（月）～12月4日（水）

2. 場 所

IMO本部（英国・ロンドン）

3. 主な内容

- 加盟国代表による一般演説
- IMOの2カ年の予算案の承認
- 理事国選挙

・添付資料・・・国際海事機関（IMO）総会 概要

【問い合わせ先】

海事局総務課国際企画調整室 岩永、大熊
代表：03-5253-8111（内線45-601、44-403）
直通：03-5253-8656
FAX 03-5253-1642



国際海事機関(IMO) 総会 概要

国際海事機関及び総会の概要

- 国際海事機関(International Maritime Organization, IMO)は、海事分野の安全、環境等に関する国際条約を制定する機関。世銀グループ、IMFと同様、15ある国連専門機関の一つ。(1958年設立、本部はロンドン(英国)、加盟国174、準加盟3)
- 海運・造船国である日本は、IMOの創設以来継続して理事国を務める等、IMOへの最大の貢献国として条約策定等の議論をリードしている。
- 総会は、同機関の任務を統括する最高意思決定機関。2年に一度開催。今回は**本年11月25日から12月4日**に開催。



国際海事機関本部(ロンドン)

総会の審議事項(主なもの)

- IMOの次期2カ年の予算案についての審議
 - 理事会、各委員会の報告の審議
 - 理事国選挙
- (カテゴリーA(我が国含む主要海運国)10カ国、カテゴリーB(主要荷主国)10カ国、カテゴリーC(その他)20カ国、計40カ国)
⇒我が国はIMO設立以来の理事国。今回もカテゴリーAに立候補。

総会への対応

- 毎回、各国からは、大臣、副大臣クラスの代表が参加し、一般演説が行われる。
- 我が国からも御法川副大臣が出席し、我が国の貢献を広くアピールするとともに、IMOの取り組みの方向性や期待について述べる予定。



第30回総会での奈良平国交審の演説の様子(2017年11月)